



薬局通信 第108号



大阪母子医療センター

新規試用または採用、採用区分が変更になった医薬品一覧

新規試用医薬品	新規採用医薬品	新規院外専用医薬品
①ノベルジン顆粒 5% ※販売延期 販売開始後に試用開始予定 ②エンタイピオ点滴静注用 300mg ③アロキシ静注 0.75mg ④マーカイン注脊麻用 0.5%等比重	①プロラム口腔用液 2.5mg・5mg・7.5mg・10mg ②ネキシウム懸濁用顆粒分包 10mg	①メキタジン錠 3mg「サワイ」 ②タガメット錠 200mg ③クラビット点眼液 1.5% ④ファムビル錠 250mg
新規患者限定医薬品	販売中止などにより変更した医薬品	
①コアベータ静注用 12.5mg ②レギュニール HCa 1.5 腹膜透析液 1.5L1 袋 (排液用バッグ付) ③レギュニール HCa 1.5 腹膜透析液 5L1 袋 ④ジプレキサ細粒 1% ⑤イストダックス点滴静注用 10mg ⑥球形吸着炭細粒「マイラン」(2g/包)	【販売中止・供給停止】 ①トリクロルメチアジド錠 2mg「YD」	

採用薬品の処方開始は、原則として **2021年9月8日(水)** からになります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。

薬事委員会からのお知らせ

販売中止などにより変更した医薬品

No	院内採用削除薬品名	理由	代替薬名
1	トリクロルメチアジド錠 2mg 「YD」	販売中止のため	トリクロルメチアジド錠 2mg 「JG」

新規試用医薬品

① ノベルジン顆粒 5% 処方箋医薬品 / 劇薬

(ノーベルファーマ株式会社) ウィルソン病治療剤 (銅吸収阻害剤) / 低亜鉛血症治療剤

一般名：酢酸亜鉛水和物

採用理由

錠剤より顆粒が使用しやすいため。

効能効果

ウィルソン病 (肝レンズ核変性症)、低亜鉛血症

用法用量

① ウィルソン病 (肝レンズ核変性症)

成人には、亜鉛として、通常 1 回 50mg を 1 日 3 回経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが、最大投与量は 1 日 250mg (1 回 50mg を 1 日 5 回投与) とする。

6 歳以上の小児には、亜鉛として、通常 1 回 25mg を 1 日 3 回経口投与する。

1 歳以上 6 歳未満の小児には、亜鉛として、通常 1 回 25mg を 1 日 2 回経口投与する。

なお、いずれの場合も、食前 1 時間以上又は食後 2 時間以上あけて投与すること。

② 低亜鉛血症

通常、成人及び体重 30kg 以上の小児では、亜鉛として、1 回 25~50mg を開始用量とし 1 日 2 回経口投与する。

通常、体重 30kg 未満の小児では、亜鉛として、1 回 0.5~0.75mg/kg を開始用量とし 1 日 2 回経口投与するが、患者の状態により 1 回 25mg の 1 日 1 回経口投与から開始することもできる。

なお、血清亜鉛濃度や患者の状態により適宜増減するが、最大投与量は以下のとおりとする。

処方区分：院内・院外処方可

長期投与の可否：可

薬価：548.⁸⁰円/g

② **エンタイビオ点滴静注用 300mg** 処方箋医薬品 / 生物由来製品 / 劇薬
(武田薬品工業株式会社) ヒト化抗ヒト $\alpha_4\beta_7$ インテグリンモノクローナル抗体製剤
一般名：ベドリズマブ

採用理由

本剤は患者限定薬であるが、導入する症例が増えており、今後も増加が見込まれるため。

効能効果

- ① 中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）。
- ② 中等症から重症の活動期クローン病の治療及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）。

用法用量

通常、成人にはベドリズマブ（遺伝子組換え）として 1 回 300mg を点滴静注する。
初回投与後、2 週、6 週に投与し、以降 8 週間隔で点滴静注する。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：該当しない

薬価：279,573 円/瓶

③ **アロキシ静注 0.75mg** 処方箋医薬品 / 劇薬
(大鵬薬品工業株式会社) 5-HT₃ 受容体拮抗型制吐剤
一般名：パロノセトロン塩酸塩

採用理由

抗がん剤による消化器症状に対する制吐剤として販売され、令和 3 年 5 月に小児に適応が追加されたため。

効能効果

抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）（遅発期を含む）

用法用量

通常、パロノセトロンとして 0.75mg を 1 日 1 回静注又は点滴静注する。
ただし、18 歳以下の患者には、通常、パロノセトロンとして 20 μ g/kg を 1 日 1 回静注又は点滴静注することとし、投与量の上限は 1.5mg とする。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：該当しない

薬価：14,764 円/瓶

④ **マーカイン注脊麻用 0.5%等比重** 処方箋医薬品 / 劇薬

(アスペンジャパン株式会社) 脊椎麻酔剤

一般名：ブピバカイン塩酸塩水和物

採用理由

無痛分娩において、マーカイン注脊麻用 0.5% 高比重に比べ、体位の影響を受けることなく一律の麻酔効果が得られるため。

効能効果

脊椎麻酔（腰椎麻酔）

用法用量

通常、成人にはブピバカイン塩酸塩水和物（無水物として）1回 10～20mg（2～4mL）を脊髄クモ膜下腔に注入する。なお、年齢、身長、麻酔領域、部位、組織、症状、体質に応じ適宜増減するが、1回 20mg（4mL）を超えないこと。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：該当しない

薬価：364 円/管